

●フレームボディー(2)

「CRF1000L Africa Twin」は、荷物を積載した状態での高速走行時に必要な剛性を効果的に確保することを目的として、セミダブルクレードル構造のフレームに、異型楕円形状のメインパイプ材を採用。スティフナーなどの補強部材の最適な配置や、目的の異なる6箇所のエンジンハンガーの採用で、様々な走行状況下でも対応できる最適なフレームの剛性バランスを実現しました。〔特許出願中〕

また、高速走行からオフロード走行までの幅広い使用範囲で対応可能な強度と、操作性の自由度を高めるための軽量化を両立させるため、フレーム素材には、ハイテン材(高張力鋼:High Tensile Strength Steel)を採用しています。

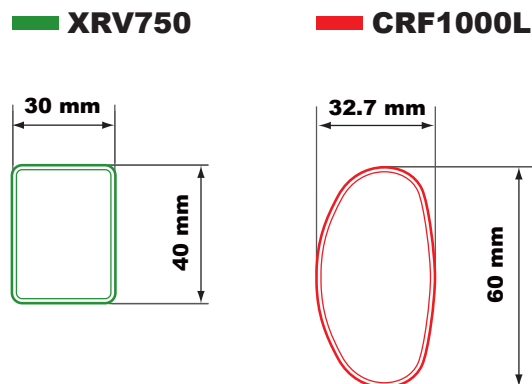
これら、「XR750 Africa Twin」から継承した技術と、最新の技術を高次元で組み合わせることによって、「CRF450RALLY」譲りのオフロードの走破性と、高速道路で人や荷物を積載しての高速走行にも配慮し、大排気量ツアラー並みの性能を両立した、本格的なアドベンチャーモデルに相応しいフレームボディーとしました。

●ウインドスクリーン

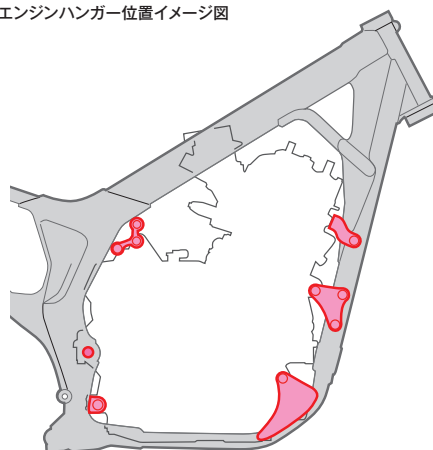
「CRF1000L Africa Twin」には、ダカール・ラリー参戦モデル「CRF450 RALLY」にも使用した、コンパクトで角度の起きた形状のウインドスクリーンを採用しました。一般的に角度の起きた形状は、スクリーン前後の圧力差が大きくなるため、スクリーンの裏に負圧領域を発生させてしまいます。今回、スクリーンの両横に隙間を設け、さらに中心部に通気口を設け走行風を取り込むことにより、スクリーン前後の圧力差を減少させました。これにより、ライダー頭部周辺のプロテクション性能の向上と上半身への走行風の低減を実現。また、自然な操舵特性と高速時の安定感を提供し、快適な高速ロングツーリングを可能としています。

さらに、透明スクリーン部を正面下部までの伸長させることで、ライダーから見たフロントタイヤ周辺における路面状況の視認性を向上させ、オフロード走行時の安心感向上に寄与させました。

■フレーム断面比較イメージ図



■6箇所エンジンハンガー位置イメージ図



■CRF450 RALLY



■CRF1000L Africa Twin